

科 目 名
機械工学セミナー Mechanical Engineering Seminar

3年 前期 2単位 必修

白 本 和 正
後 藤 英 一

【科目区分】

学士課程共通の学習効果との対応：1-(2), 2-(1)(2)(3)(4)(5), 3-(1)

【概 要】

昨年の世界的な経済危機により今後数年間の就職活動は相当厳しいものになることが予想される。就職活動のために準備すべきことは、専門科目の習得のみならず、一般常識やコミュニケーション能力の向上、適切な自己分析など多岐にわたる。企業の採用活動の開始時期が年々早まっていることから、これら就職準備は3年次の初めから積極的に行わなければならない。そこで、本講義では就職活動への意識向上を図り、社会情勢に対応したキャリア教育を行う。

【到達度目標】

- ① 就職活動の意味を理解させる。
- ② 業種、職種について正しく認識させる。
- ③ 学生が自らの能力や適正を見極め、適切な進路決定を行うための知識を身につける。
- ④ 社会の動向に対する意識を向上させるとともに、社会人になるための自覚を促す。

【授業計画】

テ ー マ	内 容
① 機械工学セミナーの概要	講義の趣旨説明および受講時の注意事項。
② キャリアアドバイザー講話	就職活動のスケジュール等や現4年生の就職状況についての講話。
③ 会社訪問報告	
④ 卒業生による講話	卒業生の就職先での業務内容の紹介および企業が求める人物像について。
⑤ 適職診断テスト	適職診断テストの実施。
⑥ SPI 対策講座Ⅰ	一般常識テストの1回目の実施。
⑦ SPI テストⅠ	就職試験用SPI 試験についての対策講座の1回目。
⑧ 一般常識テストⅠ	就職試験用SPI 模擬試験の実施。
⑨ 就職セミナー、CA講話Ⅰ	一般常識テストの実施。
⑩ SPI 対策講座Ⅱ	就職試験用SPI 試験についての対策講座の2回目。
⑪ SPI テストⅡ	自己分析による自己PRのベース作りの模擬試験の実施。
⑫ 一般常識テストⅡ	一般常識テストの2回目の実施。
⑬ 卒業生講話、CA講話Ⅱ	現4年生の内定者による就職活動体験講話。
⑭ 自己分析（表現）	自己分析による自己PRのベース作りの講習。
⑮ 総括	小論文の実施。

【授業方法】

講話と模擬テストを実施する。（＊就職課の行事計画により変更する場合がある）

【学習到達度の評価】

- ① 講話についてはレポートを提出させ、評価する。
- ② 模擬テストの結果により評価する。

【評価方法】

小論文（60点）の成績に模擬テスト（20点）およびレポート（20点）の合計点とする。また、総括時には学生自身による自己評価を行う。

【教 材】

必要に応じてプリントを配布する。

【履修上の注意】

授業中だけでなく、日頃から新聞、テレビ等により社会の動向などに目を向けると共に、自己研鑽を心がけること。